



先日、参加した在宅栄養勉強会で「標準と肥満の境目であるBMI25前後の方が長生きする」というデータが示されました。高齢の患者さんには、生活習慣病の予防や改善のため、摂取カロリーを制限するようお話しする機会が多いだけに意外でした。

早速、担当している在宅の患者さんの食卓を観察してみ

ると、菓子パンなど糖質に偏った食事を少量摂るだけの、どう見てもカロリー不足の方がいらっしゃることに気がつきました。患者さんの食事内容への介入は簡単ではなさそうですが、多職種で相談し合って対応し、患者さんには、より良く、より長く、在宅生活をすごしてもらえよう力を尽くしたいと思います。